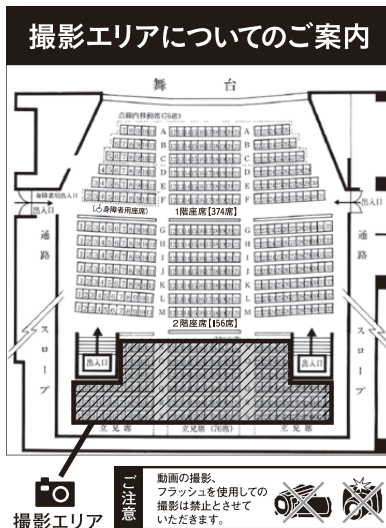


「広島神楽」定期公演へようこそ!

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラ・携帯電話等での**動画撮影は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。



7月1日のタイムスケジュール

出演：梶矢神楽団 (安芸高田市)

19:00～開演

19:05～第一幕『山伏』

(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『塵倫』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念に是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

かじやかぐらだん

梶矢神楽団プロフィール ～安芸高田市高宮町～

当神楽団は安芸高田市高宮町川根にあり、大元神楽の流れを汲んでいます。神社の古文書には江戸時代中期、現在の島根県邑智郡邑南町の羽須美村阿須那・斎藤宮司と上田村・三上宮司より神職神楽を伝授されたと記されています。

以来、戦時中も中断することなく、古典演目を伝承していることが認められ、昭和29年に広島県無形民俗文化財の指定を受けました。(指定演目「鍾馗」)

現在、新しい演目が人気を集めておりますが、団員一丸となって古典演目の伝承に精進してまいります。

第一幕『山伏』(やまぶし)

那智の山伏、亜邪利祐恵(あじゃりゆうけい)は剛力(ごうりき)を伴に修行の途中、下野(しもつけ)の国、安達ヶ原(あだちがはら)の黒塚(くろづか)にさしかかります。日はとっぶり暮れてしまい、折りよく見つけた一軒の家に宿を求めますが断られ、野宿をすることになります。

就寝の中で祐恵らは、もののけに取り憑かれたようになってしまい、里人に話したところ悪狐の妖怪ということがわかります。妖女に化けた悪狐を見つけた祐恵らは格闘となりますが、剛力は食われ、自らは辛うじて逃げます。やがて勅命を受けた三浦介、上総介によって悪狐は退治されるという物語です。

【出演】	大太鼓	上田 正幸	阿邪利祐恵	道庭 晃	悪狐	行田 雅春
	小太鼓	上田 照明	剛力	田中 克明	三浦介	神田 光太郎
	手打鉦	大久保 俊佑	里人	長尾 良文	上総介	柴野 利成
	手打鉦	田中 直也	妖女	柴野 竜二		
	笛	古太刀 秋貴子				

第二幕『塵倫』(じんりん)

人皇第14代仲哀(ちゅうあい)天皇の御代、異国より日本征伐を企てて数万の軍勢が攻めてきました。その中に塵倫という身に翼があり、黒雲に乗って虚空を自由に飛び回る神通自在の大將軍がおり、国々村里を荒らし、多くの人民を滅ぼしていました。しかし、我が国にはこの大悪鬼にかなう者がいませんでした。そこで仲哀天皇自ら不思議な霊力のある十善万乗(じゅうぜんばんじょう)の神変不測の弓矢を持って、神通力を持ち戦術にも長けた鬼を退治されたという物語です。

【出演】	大太鼓	上田 正幸	仲哀天皇	道庭 晃	塵倫	田中 克明
	小太鼓	長尾 良文	高麻呂	大久保 俊佑	小	柴野 竜二
	手打鉦	田中 直也			小	柴野 竜二
	手打鉦	柴野 利成			小	行田 雅春
	笛	神田 光太郎				

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。